

カンパラ市周辺：腸チフス(Typhoid Fever)の流行に関する注意喚起

1. カンパラ市周辺における腸チフスの流行

2月19日、ウガンダ保健省はカンパラ市における腸チフスの流行を宣言しました。感染者が確認されているのは、ナカワ地区を除いたカンパラ市全域と隣接するワキソ県及びムコノ県の一部地域です。感染報告が集中しているのは、カンパラ市の中心部(Nakasero Market、Disableds' Market、New Taxi Park、Allen Road、Nabukeera Plaza、Qualicel)です。これまでに2人の死亡が確認され、200人余りが感染を疑われ、検査が進められています。

つきましては、カンパラ市及びその周辺に渡航・滞在を予定されている方は、最新の関連情報を入手すると共に、下記2.(4)の予防対策をとることをお勧めします。

2. 腸チフスについて

(1) 感染源

腸チフスはサルモネラ属チフス菌による感染症です。患者や保菌者の便や尿に汚染された飲食物(水、氷、野菜、生肉など)を口にすることで感染します。

(2) 症状

潜伏期間は1～2週間です。高熱、腹痛、頭痛、全身倦怠感、便秘、ときに下痢、ピンク色の発疹といった症状を呈し、重症化すると下血や意識障害が認められることもあります。

(3) 治療

有効な抗生剤を投与します。ただし、治療後もしばらくはチフス菌を排出することがあります(保菌者)。

(4) 予防対策

- ・十分に加熱した飲食物を口にするようにしてください。
- ・果物は清潔な水でよく洗い、皮をむいて食べるようにしてください。
- ・こまめに手を洗うようにしてください。
- ・感染者が多数出ている地域での飲食はなるべく避けるようにしてください。